

ピアホームだより

2009. 10. 29

10月13日、JHC板橋会の地域活動支援センター・スペースピア主催で、第2回、地域生活ケア会議が開催され、ピアホームも要請を受け参加して来ました。

この会は、東京都退院促進コーディネート事業の中で位置づけられた会議で、必ず設置するものとされ、退院促進コーディネート事業者が事務局となり、事業所関係者が月1回程度会合を持つものです。

都健康福祉局精神保健・医療科担当五十嵐さん、板橋区予防対策課、各保健所・健康福祉センター、福祉事務所、協力医療機関（愛誠・飯沼・富士・陽和・慈雲堂）、障害福祉サービス事業所として、JHCのGHレジデンス虹にピアホームもメンバーに加わるという構成でした。これは、ピアホームが、積極的に愛誠病院と退院促進の取り組みを行

い、示唆に富む事例を経験したためでしょう。

ピアホームからは、民間アパート（ヘルパーなどの支援を入れるケースが多い？）を使う場合と、グループホームを利用する場合の振り分け基準について、また、アパート入居にあたって示された安心賃貸事業について質問をしました。

11月の行事

<10月29日> GH担当者会議

<11月1日> 白石先生主催の家族と専門家の交流会

お知らせ

- ・ 11月12日、食事会予定。
- ・ 個別支援計画面談予定表
青柳さん—11月5日
市六さん—10月30日
西川さん—11月11日
- ・ ピアホームIに新規入居予定の渡辺さんは、区への手続きが遅れ、12月頃になる予定です。

今日のひとこと（宮田法話）

設ひ今生には父母に孝養をいたすようなれども、後生のゆくへまで問ふ人はなし

昔楽しかった(?) こと

小学校時代のおもいで

市六 孝忠

(続き)

4年間、ぼくといっしょに通った友人が、卒業の時に、時計をもらって3日後になくしてしまいました。残念な思い出です。

女性に対しては、照れ屋でした。

クラスで一番かわいいと思っていた子とフォークダンスを踊ることになった時、恥ずかしくて、手がつなげなく、男性と組んでしまったことがありました。

小学校6年の時に、墨田から板橋に引っ越しとなり、おじいちゃん・おばあちゃんと暮らすことになりました。でも、その時の担任の先生は、大変良くしてくれて、引っ越しの苦労もなく、楽しく過ごすことができ、今でも感謝しています。